

事業番号	09 04 07	事業改善シート（令和2年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課		
		実施期間	S25～	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	付加価値を高め、経済成長を実現						
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進			3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり			



1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】	<ul style="list-style-type: none"> ・河川湖沼では、外来魚やカワウ等による食害対応や、遊漁者の増加に向けた特徴のある漁場づくりが必要とされている。 ・養殖業では、「信州サーモン」や「信州大王イワナ」をはじめとする地域特産魚の品質向上と安定生産が求められている。
	【目指す姿】	<p>県の水産業を持続的に発展させるために、河川湖沼における水産資源の持続的有効利用及び漁場の活性化、並びに消費者から求められる魚づくりで儲かる養殖業の実現を目指す。</p>
	【実施内容】	<p>水産資源の保全、漁業秩序の維持、漁業協同組合（以下「漁協」という。）の健全かつ適正な運営の確保、養殖業の発展、水産業の振興に資する試験研究・技術開発及び技術指導並びに種苗生産など</p>

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]								事業 コス ト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度		
No	成果指標	H30年度	R1年度		R2年度		目標値		達成状況	予 算 額	前年度繰越		
			1	研究目標達成率	17%	18%					↑	40%	↑
2	信州ブランド魚生産量	439t	450t	↑	355t	↓	440t		未達成		合計(A)	85,629	118,743
3											うち一般財源	45,793	77,271
4									決 算 額(B)		84,609	112,798	
									職 員 数(人)	29.5	29.5		

成果指標 設定理由	<p>①長野県の水産資源の増殖及び養殖業の生産性向上のための研究課題について進捗状況を評価できる指標として設定</p> <p>②県内養殖業の振興、特に信州ブランド魚（信州サーモン、信州大王イワナ）の生産及び消費拡大を図るため、その目標として設定</p>
--------------	--

達成状況 の分析	<p>①禁漁区の支流から本流に移動するイワナ稚魚の実態調査など4課題については、調査河川を変えて研究結果を検証するなど、引き続き検討することが必要となったことから目標が未達成となった。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令等により、観光や飲食店等における信州ブランド魚の需要が減少したことで、目標対比81%となった。</p>
-------------	--

主な取組	<p>✓信州サーモン、信州大王イワナの種苗供給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実需者等のニーズに応えるため、信州サーモンと信州大王イワナの稚魚を養殖業者に安定供給 ・令和2年度の稚魚供給量は、信州サーモン31.1万尾、信州大王イワナ6.8万尾 <p>✓信州大王イワナに適した解凍技術の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信州サーモンに続き、信州大王イワナに適した解凍方法を検討 ・0～4℃の緩慢解凍により、ドリップの量や品質低下を軽減 <p>✓カワウによる食害に対する広域対策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天竜川水系における、カワウの広域対策に向け、漁協や猟友会など関係者による連絡会議を開催し、情報共有や専門家からの助言を踏まえ、今後の対応について検討 	 <p>信州大王イワナの解凍方法の検討</p>  <p>カワウ対策に関する連絡会議</p>
------	--	---

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・魚食性鳥類等による魚の食害の発生 ・養殖生産現場での魚病対策や養殖技術等の課題 ・高齢化による組合員の減少や遊漁者数の減少により、漁協の経営の体質強化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・漁協が行う魚食性鳥類等の駆除などに対して引き続き補助を行うとともに、関係者が連携したカワウの広域対策を検討するなどにより、漁業資源の減耗を防ぐ。 ・儲かる養殖業の実現を目指し、科学的知見に基づく技術的支援を行うことで、生産効率の向上を目指す。 ・漁協が観光など地域の関係者と連携して行う、遊漁者の多様なニーズに沿った魅力ある漁場づくりにより、遊漁者の増加を図り、漁協の経営を安定化させる。

事業番号 09 04 07 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	水産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	--------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
1	外来魚等食害防止対策事業		1,835 千円	1,643 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	外来魚等食害防止対策推進事業	直接	外来魚等食害防止対策のため、駆除に関する打合せや、広域対策に向けた連絡会議の開催のほか、被害状況など情報収集を行った。	
2	外来魚等食害防止対策事業	補助金	外来魚対策8団体、カワウ対策5団体、ミンク対策1団体の取組に経費補助し、漁業被害等防止対策を推進した。	

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
2	諏訪湖環境改善対策事業		46 千円	34 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	漁場活性化のための取り組み	直接	9月に国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所から専門家を招聘し、諏訪湖を含む天竜川水系における広域的なカワウ対策に向けて助言を受けた。	

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
3	信州産魚介類消費拡大推進事業		168 千円	— 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	—			

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
4	釣りリズム信州推進事業		182 千円	47 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	遊漁振興推進指導事業	直接	地域の観光業などと連携し、釣り人の増加による内水面漁業と地域の振興を図るため、釣り人のニーズに沿った特徴のある漁場の情報発信等を行いました。	

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
5	漁業指導事業		1,350 千円	609 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	漁業指導調整事業	直接	県内の漁業協同組合に対し、漁業権の管理や行使について指導を行った。	
2	組合検査指導事業	直接	漁業協同組合の業務、会計状況について、30漁協で検査を実施した。	
3	漁場利用調整事業	直接	令和2年度は漁業権者からの申出が無く、協議会は設置されなかった。	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
6	水産試験場運営費	39,594 千円	66,929 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	水産試験場の円滑な運営	直接	水産試験場の保守及び維持管理、予算執行により円滑な運営を実施した。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
7	水産試験場試験研究費	13,574 千円	15,676 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	増養殖技術の改良・確立	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・アユの疾病対策：放流用種苗検査6件 ・溪流魚への温暖化緩和技術の開発：支流の生態の解明 ・特定疾病対策研究：KHV・レッドマウス病の防疫 ・ワカサギの遊漁利用開発：遊漁振興方策の事例調査 ・マス類における重要疾病リスク管理技術閲覧：IHN防疫技術の開発
2	市場性の高い品種の開発	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・信州ブランド魚の開発・品種改良：育種素材の開発・保存 ・信州ブランド魚の高品質生産技術開発：冷凍加工技術研究 ・ニジマス海面飼育用種苗開発試験：系統別の成長比較試験
3	水産環境の保全	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・外来魚駆除技術開発：河川における駆除技術開発 ・諏訪湖の漁業安定化技術開発：シジミ増養殖技術開発

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
8	水産試験場技術指導費	3,673 千円	3,812 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	養殖漁業指導	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・魚病診断・対策指導など安全・安心な魚作りに関する指導534件 ・養魚巡回指導：薬事巡回指導20件、信州サーモン等生産者指導19件 ・養魚講習会1回
2	河川湖沼漁業指導	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・外来魚対策など水産環境保全指導・増殖手法の普及や漁場管理指導358件
3	寒天製造技術指導	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・製造期の巡回指導10件（新型コロナウイルスの影響によりアンケートにより対応） ・原藻の性状分析1件 ・製造品等の依頼分析229件

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
9	水産試験場種苗開発費	24,187 千円	24,048 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	ニジマス種苗供給 在来マス・信州サーモン 種苗供給	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・ニジマス種苗等の供給：全雌・三倍体卵217万粒、不要魚(雄)0.7t ・信州サーモン種苗等の供給：信州サーモン稚魚31.1万尾、信州大王イワナ稚魚6.8万尾 ・在来マス種苗の供給：イワナ普通卵5.0万粒、イワナ稚魚3.8万尾
2	アユの種苗供給	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・アユ種苗の供給 稚魚33.0万尾、大型稚魚4.1t
3	シナノユキマス・フナ等 種苗供給	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・シナノユキマス種苗供給 ふ化仔魚77.4万尾、稚魚5.8万尾、未成魚1,150kg ・コイ科魚類種苗供給 ウグイ稚魚31.5万尾、ウグイ大型稚魚291kg、フナ親魚1.6t